



御名を賛美いたします。いつも西小倉めぐみ教会を覚えて祈り、お支えをいただき感謝いたします。

イエス・キリストはその時代に抑圧を受けている人々をどのように救われたのでしょうか。マタイ・マルコ・ルカの共観福音書だけで、イエスの行った癒やしの奇跡は96あります。そのほとんどが障害者であり、特にその半数は「悪霊に憑かれた人」とされる精神障害者でした。「癒やし」と新共同訳聖書で訳されている原典ギリシア語は、本来「奉仕する」「看病する」「手当する」という意味しかないのだと言います。しかし、イエスには特別の治療技能があったと考えるよりも、その人のもとに行き、その人に向き合い、対話をして、具体的にその人が家や地域にもどる道を示した、という営みにこそイエスの癒やし(奉仕、手当)の本質があったのではないかと考えます。

ところで、今日の精神医療の視点では、精神症状は押さえなければならないもの、とばかりになりがちです。自分自身が精神疾患を持つ私の実感では、精神障害者にとって本当に必要な癒やしとは、今の生活課題は何か、今どのような具体的支

援を必要としているか…、それを、自分と立場の異なる人がいっしょに考えてくれる人間関係が、とても大切なのだと考えます。立場が違うからこそ、互いの尊厳を認め合う実践もできると思うのです。自分を抑えて無理に相手の価値観に染まることなく、自分をそこに見いだせる信頼できる人間関係を発見することこそが、人間の根源の癒やしには必要なのではないのでしょうか。

私たちクリスチャンが毎週日曜日に行う礼拝もまた、その原典ギリシア語「ディアコノス」の意味をたどると「奉仕」であり、英語ではサービスと訳されます。しかし、今日の教会礼拝は、果たして、本来あるべき「抑圧を受けている人と向き合い、対話をする」サービス・奉仕の教会となっているのでしょうか。立場の違いを認めず、同質・同族性のみを求めるとなれば、そこには必ず排除される人がいて、今の時代に抑圧を受けて生きている人の持つ課題も、個人の顔も、何も見えなくなってしまうように考えます。

西小倉めぐみ教会では、昨年、この時代に抑圧を受けている人々の課題について、実際にその人の生活の場面におもむき、自分の立場から、課題と取り組んでこられてきた方々を講師に招いて、学習会を行わせていただきました。韓国・台湾・フィリピンでの日本軍性奴隷問題、福島原発事故と内部被曝の課題、DV被害支援の課題について、平易な言葉で、お話をいただきました。講師の皆さんのそれぞれの、その人の生きている場に赴く中で課題に取り組む姿勢に、私達も共感し学ぶものが多くありました。感謝です。西小倉めぐみ教会の宣教の課題であり、全国の教会と信徒の皆様からご支援をいただいている「精神障害者の生活支援の課題」についても、教会としてのサービス・奉仕・礼拝の在り方を問いつつ、これからも取り組ませていただきたいと思います。感謝。

棚谷直巳

< 学習会を開きました >

I. 戦後70年の今年、戦後補償問題を日本軍性奴隷問題から考える 2015年8月9日

浅井美里さん（旧日本軍性奴隷問題の解決を求める全国同時企画・京都実行委員会）を招いてお話をうかがいました。

いわゆる「従軍慰安婦」という言葉では実態にそぐわず、国際的には「旧日本軍性奴隷問題」と呼ばれており、同会でもそう呼んでいます。

勇気をもって名乗り出て、自らの体験を語る当事者たち。同会では、そんな彼女らを訪ね、そして日本にも招き、交流を重ねてこられました。そんな1人1人が力強く生きてこられたストーリーをかみしめ、語り継ぎ、戦後補償を主張し続けていくことの大切さを痛感しました。



II. 戦争と原爆と原発と放射線被曝のつながりを内部被曝からとらえ直す 2015年9月20日

フリーライターの守田敏也さんを招いて、午前の礼拝では「いのちを守る」と題して証しをいただき、午後の学習会では「被曝と防護」を中心にお話をうかがいました。

守田さんは、日本の原子力政策についての独自の研究と批判活動を展開し、原発事故の恐ろしさ、とりわけ目に見えない「内部被曝」の恐ろしさと防護を訴えてきました。福島における「放射能除染・回復プロジェクト」にも参加し、チェルノブイリ原発事故の問題ともからめ、海外との連携の強化にも尽力されています。この日は、難しい専門的な話をわかりやすく解説いただきました。話の結びでは、世界平和の実現にむけた熱い思いも語られ、大いに共感しました。



III. 非暴力とはーアウンジャ（DV被害者支援の会）の取り組みからー 2015年11月15日

NPO法人アウンジャを立ち上げ、DV被害者らの居場所としての民間シェルターを運営されている岡本かよ子さんを招いてお話をうかがいました。

公的機関だけでは対応できない様々なニーズに応えながらも、今も真のDV被害者支援とは何かを悩み、模索を続けておられることが語られました。被害者に寄り添い力付けるのみならず、男性側を対象としたミーティングの取り組みもされています。私たちの中にも、自覚はなくても暴力性がひそんでいることに気づかされます。

DVは戦争に通じるとのこと。その「暴力」の根は同じであり、「非暴力」を貫くこと、条件付きではなくありのままを「愛する」ことの大切さを力説されました。



< まことの「平和」を祈るクリスマス > 2015年12月20日



今年は棚谷牧師を迎えて初めてのクリスマスであるとともに、戦後70年の大切な節目の年。しかし、世界的にも国内的にもかつてない危機にあって、平和が脅かされる中で迎えたクリスマス。この教会ではどんなクリスマスをしようかと考えました。

聖書ヘブライ語「平和・シャローム」の本来の意味は、地球上の「どこにも傷ついたところがない状態」のこと。誰かの犠牲の上に成り立つものは、平和とは呼べない。そんな思いを込めて、この日の夜のクリスマス・イブ礼拝は「生命の輝き『戦争はあかん!』」というテーマで開きました。

棚谷牧師からのメッセージは、得意の(?)紙芝居を使っ
てのメッセージ。「ねこがみた天国」というタイトルで、30
年くらい前に棚谷牧師が作ったものに現代の課題も盛り込
んでリニューアルしたものでした。架空の島国を描きながら、
大震災による津波や原発のこと、沖縄の基地問題などの要素
も組み入れたメッセージとなりました。

この他にも、平和や個人の尊厳を願う詩の朗読、ほっとハ
ウス(精神障害者支援施設)利用者による「アヴェ・マリア」の歌唱、隣国との未来志向(もち
ろん過去の歴史を踏まえて)の関係を込めて韓国語の讚美歌の歌唱、オカリナとリコーダーの演
奏、そして「歌ごえ」(近隣の方々との歌の集い)の方々による4曲の合唱と、教会員のみなら
ず周辺の方々も練習を重ねて手作りのプログラムで構成しました。

クリスマスのメッセージが世界中に届いて、世界が真に平和になりますように!



< 夏のデイ・キャンプ > 2015年8月23日

棚谷牧師になって初めての夏のデイ・キャンプをアク



トパル宇治で開きました。暑すぎず、天候にも恵まれ、山あいの川で水遊びを楽しみました。この日は野外礼拝としてもち、棚谷牧師手作りの紙芝居「きつねの舞い」を披露。自分らしく生きることを強調したストーリーに、参加した子どもたちも聴きいりました。



「西小倉めぐみ教会を支える会」へのご支援のお願い

主の御名を賛美いたします。

西小倉めぐみ教会は、1981年、多芸正之牧師による創立以来、社会の中で小さくされた人たち、貧しくされた人たち、しょうがいをもつ人たち、とりわけ精神しょうがい者の人たちの課題を共に負って生きること、平和を希求して歩むことを宣教の課題として歩んできました。

2005年から倉橋剛牧師を迎えた後も、その基本姿勢を継承し、不登校・ひきこもりがちな青少年の居場所「おやすみ」や、年齢制限のない居場所「のんびり」、地域の方々と歌を通じて交流する「歌ごえ」など、ささやかながら取り組みを続けてきました。倉橋牧師任期中の2014年8月には「宗教法人日本基督教団西小倉めぐみ教会」を設立し、今後永く教会のはたらきを続ける基盤ができました。

そして2015年4月には、新たに棚谷直巳牧師を迎えました。精神しょうがい者の支援施設で長く働いてきた棚谷牧師を中心に、これまでの同教会のはたらきをさらに継承・発展させていこうとするところです。

同教会では、教会に集う人たち自身が精神しょうがい者であったり、その家族に精神しょうがい者がいる人たちが多くを占めています。弱い立場にある人たちが多く集う教会ゆえに、教会員による精一杯の献金にもおのずと限界があるところです。

そのため、牧師の謝儀に対し、京都教区宣教連帯の制度から援助を頂き、さらに全国の皆様から「西小倉めぐみ教会を支える会」に献金をいただき、併せて教会の支出の見直しを重ねながら、牧師家庭の生活を支えてきました。これからも厳しい状況にあっても、小さく弱い群だからこそこの教会が神様から与えられた使命を果たし続け、その社会的はたらきをより広く知っていただくための発信を続けたく思います。

そのようなこの教会のはたらきと、厳しい経済的事情にどうかご理解をいただき、「西小倉めぐみ教会を支える会」へのご支援をいただきたくお願い申し上げます。

2016年 1月

西小倉めぐみ教会を支える会 代表 山下茂雄
(かがわ子ども・子育て支援センター館長)

今までに御献金いただいた方のお名前（敬称略・順不同）2015.10.1~2015.12.31現在

安達太郎・美千子 宇治教会すみれ会 君村千代子 光明園家族教会 琴浦教会 近藤英子

佐藤嘉子 静岡草深教会 大門義和 番町教会 聖ヶ丘教会 箕面教会 洛南教会

田中 晁・千栄 小曽根一枝 西本 愛 杉本節子 門戸幸子 岩城澄子 橋本 博 柴垣孔明

倉橋 剛・容子 棚谷直巳・李清美 (37件 計 151,500円)

振り込み口座番号(ゆうちょ)…00970-2-79224 (加入者名 西小倉めぐみ教会を支える会)

●教会のホームページをご覧ください！！

西小倉めぐみ教会のホームページが出来ています。まだまだ内容はこれからですが、これから充実させていく予定です。教会通信を掲載しています。是非一度ご覧ください。

アドレスはwww.n-megumi.comです。

また、不登校やひきこもりがちな子ども達、若者達のフリースペース『おやすみ』のホームページもあります。アドレスはoyasumi.infoです。こちらの方も併せてよろしく申し上げます。